

関連項目：教育活動プラン①

評価カードを活用して承認・賞賛の機会を増やす

目的

本校の児童は、こちらから声を掛けるとあいさつをするが、全体的には自分から元気よくあいさつができていたとは言えません。そこで、元気なあいさつができることを学校の伝統として定着させるために心の育成を目指しました。

内容

● 全校生によるあいさつ運動

児童会を中心に話し合っ、毎月のあいさつ週間にペア学年で順番にあいさつ運動を行う。

● カードの作成と表彰

①あいさつチェックカードをもとに、クラスで一人元気にあいさつできた児童を選び全校朝会で表彰をする。(5月)

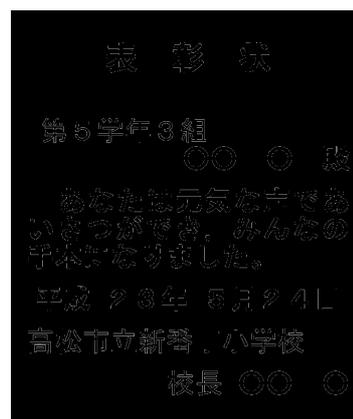
②あいさつチェックカードをもとに、あいさつできた人数をクラスで集計し、多かったクラスを全校朝会で表彰をする。(7月)

③毎日の目標を100人と決めてあいさつチェックをするとともに、あいさつレンジャーが元気よくあいさつできている児童を見つけ、お昼の放送で名前を公表する。(10月)

④地域の方に元気なあいさつをすることを目標にあいさつチェックをする。(1月)

● あいさつレンジャー

5年生の中であいさつレンジャーを募集し、朝のボランティア活動としてあいさつ運動を推進していった。あいさつ運動に参加する際に腕章を付けるようにしたり、元気よくあいさつができた児童を見つけたりすることで参加意欲を高めた。



成果

こうした取り組みを通して意欲的にあいさつに取り組む児童が増えてきました。100人あいさつでは全校生700名あまりの内およそ500名が目標を達成し、中には目標をはるかに超えて1000人に到達しようかという児童もいました。やはりチェックカードを利用するとともに、そのがんばりを賞賛する場面を設けたことが全校生の意欲につながったと考えられます。